

優良事例集



令和5年度

健康経営優良事例集

|目次|

支部長メッセージ02	感染症対策	
	山忠食品工業株式会社	19
社長インタビュー		
イケダアクト株式会社 代表取締役 田中久司さん 03	禁煙・受動喫煙対策	
株式会社クスノキケミコ 代表取締役 城戸 勝喜さん 04	四日市合成株式会社	20
健診受診率向上の取り組み	メンタルヘルスに関する取り組み	
四日市合成株式会社05	株式会社世古工務店	
株式会社クスノキケミコ	イケダアクト株式会社	22
健康サポート(特定保健指導)	健康事業所宣言	
実施率向上の取り組み	はじめよう! 健康経営	23
イケダアクト株式会社		
山忠食品工業株式会社	健康事業所宣言した後は	
	回そう! 健康経営のPDCA ····································	24
健診の結果、医療機関受診が	ht A	
必要な従業員への受診勧奨	協会けんぽのサポート	
四日市合成株式会社	さらに充実、一歩先へ!	
株式会社世古工務店10	協会けんぽの健康づくり事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
有限会社エムアイトランスポートサービス 11	三重とこわか健康経営カンパニー	
食生活の改善	(ホワイトみえ) 認定制度	2/
株式会社オクムラ	協会けんぽ三重支部の協定先自治体	
	使おう! 地元の健康サポート	29
運動機会の増進	健康経営に関する協力団体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
有限会社エムアイトランスポートサービス 13		50
イケダアクト株式会社	三重産業保健総合支援センターの紹介	
海切れ掛きたの中田	使おう! さんぽセンター	31
適切な働き方の実現		
平尾鋼管株式会社15	協会けんぽのインセンティブ制度	
株式会社院南組	活用しよう! インセンティブ制度	33
コミュニケーションの促進	事例集協力事業所一覧	34
株式会社院南組17		
有限会社保険プロデュース		

支部長メッセージ

全国健康保険協会 三重支部 支部長 内藤 誠



日頃より協会けんぽ三重支部の事業運営にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

協会けんぽ三重支部では、事業主様が従業員の健康に配慮することを 社内外に宣言し、従業員とご家族の健康保持・増進のために取り組む 「健康事業所宣言」を推進しております。職場の健康づくりは、事業主様 のリーダーシップのもと、従業員一人ひとりが意識を持ち、事業所全体で 生活習慣の改善に取り組んでいくことが大切です。

今回ご紹介する10社は、健診や特定保健指導を活用するとともに、職場の健康課題解決に向けて、様々な工夫を凝らしながら健康づくりを実践されています。「健康事業所宣言」をはじめている、または、これからはじめようと検討しているすべての事業所様に本事例集をお役立ていただければ幸いです。

最後に、当事例集の作成にあたりご協力いただきました皆様に厚く御礼 申し上げます。



社長インタビュー

イケダアクト株式会社 代表取締役 田中 久司 さん

健康経営の取り組みは 多方面で好循環を生み出す

▶▶▶ 「健康事業所宣言」にエントリーしたきっかけは?

三重県が次世代育成や子育て家庭の支援に熱心に取り組み始めた頃、その一つ「ファザー・オブ・ザ・イヤー」に弊社の従業員が応募し、賞をいただいたことがありました。それが一つのきっかけとなり、従業員が働きやすい職場づくりを推進していこうと思いが強くなりました。その後、「健康事業所宣言」の取り組みを知り、エントリーすることを決めました。

▶▶▶ 健康経営について、心がけていることは?

今までの制度に一工夫を加えて「特定保健指導の実施率向上」に取り組んだり(詳細はP.07)、ゲーム感覚で楽しめる制度をつくったり、自分たちができる範囲で、社内のコミュニケーションツールになる取り組みを考えています。建設業は現場仕事が多く、昼間は顔を合わせない従業員が多いので、健康経営の取り組みは、従業員同士がコミュニケーションを図る良い機会となっています。

▶▶▶ 従業員の反応や社内における変化について教えてください。

弊社は新規事業を含め、さまざまな新しいチャレンジをしてきたので、「変化を怖がらない会社の風土」ができつつあると感じています。それは健康経営に取り組む姿勢にもつながっており、会社が推進していることに関しては従業員一人ひとりが前向きに取り組んでくれています。運動機会の増進のために始めた「社内部活制度」(詳細は P.14) も従業員の半数が参加しています。

▶▶▶ 健康経営の取り組みにおける今後の目標は何ですか?

建設業は今も3K(きつい・汚い・危険)というイメージを払拭しきれていません。その中で、健康経営をはじめとする「従業員のための取り組み」が認められたことは喜ばしいことです。現在はメンタルヘルスに関する取り組み(詳細はP.22)も行っており、多様な場面で社名が出ることで、自社への信頼を高めるだけでなく、建設業界のイメージアップにも貢献できたらうれしいです。

▶▶▶ 健康経営についてお考えの経営者の方々へのメッセージをお願いします。

私たち中小企業は、少ない人数で力を合わせて毎日仕事をしています。その中で、経営陣が健康経営に関心を持ち、「従業員の健康を大切にする」という気持ちを行動で示すというのは、非常に重要なことです。健康な従業員が増えれば当然業績も上がります。従業員に負担をかけずに手軽にできることが必ずあると思うので、小さなことから地道に取り組んでいただきたいです。



株式会社クスノキケミコ 代表取締役 **城戸 勝喜**さん

元気に働ける従業員が いてこそのビジネス

▶▶▶ 「健康事業所宣言」にエントリーしたきっかけは?

今やどの業界にもいえることですが、我々倉庫業界も人手不足が慢性化しています。従業員の高齢化も進み、ベテランの方々にいかに長く健康的に勤めていただくかが近年重要だと感じていました。日々の体のケアはしっかり行ってほしいという思いから「健康経営」に着目し、「健康事業所宣言」にエントリーさせていただきました。

▶▶▶ 健康経営について、心がけていることは?

日頃から「一企業としてどこにお金をかけるか」という観点を大切にしています。私は「人」がいてこそのビジネスだと考えていますので、「人」には躊躇なく投資しています。また、健康経営の取り組みは、福利厚生の充実にもつながります。福利厚生については若い世代からの関心も高く、当面の課題である雇用確保におけるメリットもあると感じています。

▶▶▶ 従業員の反応や社内における変化について教えてください。

健診受診率向上(詳細はP.06)をはじめ、健康に関するクイズを従業員に出し、正解者には賞品を贈呈したり、 地域のウォーキングイベントに参加したり、多方面で健康経営の取り組みを行ってきました。それによって、 会社が一人ひとりの健康を大切にしていることを従業員側が肌で感じ、取り組みに積極的に参加してくれるようになりました。この前向きな姿勢は、今後の会社にとって重要な要素になると思います。

▶▶▶ 健康経営の取り組みにおける今後の目標は何ですか?

日々の業務に追われる中で、健康に対してどのような目標を掲げるかについては、会社側が考えなければいけない課題です。「健康に注意してね」と言うだけでなく、従業員自身で目標を設定させ、管理させることも大切なことです。今後は、社内の評価制度としても、健康に関する取り組みを重視し、自分の目標を達成すれば、会社における個人評価を高めるという新しい査定制度も考えています。

▶▶▶ 健康経営についてお考えの経営者の方々へのメッセージをお願いします。

管理者だからといって、ずっと座って仕事しているのではなく、管理する本人が現場に出向き、従業員が日々どんな思いを持って働いているかを、自分の目で見て、声を聞くことが大切です。健康経営に限らず、会社のすべての事柄において、現場の思いを知らないと、どんな指示も受け入れてもらえません。自らが動いて、従業員のフォローやケアをしていただきたいです。

健診受診率向上の取り組み

四日市合成株式会社

業種 化学 (各種化学品の製造、加工、販売) 従業員数 約250名

取り組みの内容

健康づくり担当部門である「人事担当者」が従業員の 健診スケジュール(1年に1回、巡回検診)を作成。

社内の電子掲示板上で告知し、未受診者は改めて健診 クリニックに行くように、メール・電話・面接にて受診 勧奨を行う。特定保健指導対象者についても、人事担 当者が把握し、保健師との日程調整等を行う。



社内で行われる健診の様子

取り組みの成果

2022年度

健康診断受診率 特定保健指導実施率 100%の目標達成!

▎+αℴサポート┆

- ●インフルエンザの予防接種は全額補助! ▶ 1年に1回希望者を募集。
- 歯科検診の費用も補助! ▶ 1名につき上限2,000円。1年に2回まで申請可能。 ※2022年度は約30名 (延べ約60名) 利用。



▶▶▶ 取り組みのポイント・今後の課題

長年取り組んでいるため、「企業文化の一つ」となっている。ハローワークとのやりと りや求人関係のイベントでは、歯科検診の費用補助は「珍しい」といわれることが多く、 「福利厚生の充実した企業」としてのPRもしていきたい。



株式会社クスノキケミコ

業種 倉庫業 従業員数 87名

取り組みの内容

約3カ月の健診実施期間内で、従業員全員が就業時間 内で受診できるように、各部門の管理職がスケジュー ルを調整。予定されていた健診日に受診できなければ、 健診機関と相談して、日程を再調整。「胃バリウム検査」 は以前から健診の項目に入っていたが、「胃カメラ検査」 の希望者が多かったため (従業員の約2割)、会社負担 で「胃カメラ検査」を受けられるように健診費用の補助 制度を変更。その他のオプション検査のうち2項目(「が ん検診」をはじめとする数項目から各自が選択) も会 社が負担。



取り組みの経緯

従業員の平均年齢は 40代後半

特に50代の従業員は健康に気をつけており、「若い頃から健康意識を高く持ってお けばよかった」という意見が多かったことがきっかけの一つ。



┤+αのサポート┆

健診の結果、医療機関受診が 必要な従業員への受診勧奨

従業員一人ひとりの健診結果は総務課が把握。要精密検査・要治療の項目が あれば、本人に書面で受診勧奨を行い、受診結果を報告してもらう。時間の 都合などで受診に消極的な従業員もいるので、その場合は産業医との面談の 機会を設けている。



健康サポート(特定保健指導)実施率向上の取り組み

イケダアクト株式会社

業種 建設業 従業員数 40名

取り組みの内容

健診結果によって判明する「特定保健指導の対象者」 を総務課が把握。

実際に顔を合わせるタイミングやメールで、総務課が 他の従業員にわからないように、対象者に個別に連絡。 就労時間内に指導を受けられるようにスケジュールを 調整。

┤ +αの取り組み ├

月に1回健康に関する情報誌を社内回覧。 従業員の健康に対する意識向上を促して いる。



取り組みの成果

継続することで自然と

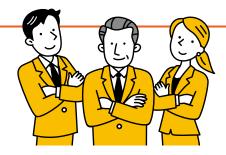
実施率が向上

この取り組みを始めて数年が経過。「特定保健指導の対 象者」は「指導を受けなければいけない」という意識が 高まり、対象者となった従業員は、ほぼ100%指導を受 けている。



取り組みの経緯

三重県が 「三重とこわか健康経営カンパニー (ホワイト みえ)」認定制度を開始した時、「評価項目及び認定要 件」に「保健指導の実施又は特定保健指導実施機会の 提供に関する取り組み」という項目があり、会社として 認定をめざしていたため、取り組みをスタート。



三重とこわか健康経営カンパニー (ホワイトみえ) 認定制度 P.27、P.28

山忠食品工業株式会社

業種 食品製造業 従業員数 75名

取り組みの 🔯 🕾

健診結果によって判明する「特定保健指導の対 象者」を総務部が把握。

部署の上司と相談し、可能な限り特定保健指導 を受けられるようにスケジュールを調整。



健康経営に関する取り組みは月に一度行われる 「衛生委員会」での主な議題の一つ

取り組みの課題と対策

課題①

日頃の業務が忙しいため、健診とは別に特定保健 指導を受ける日を設定するのは難しく、「実施率 100%」は達成できていなかった。

課題②

健康事業所宣言の認定を受 けたことで、健診の企業単 位の分析結果が届くように なり、代謝(血糖)リスクを 保有する従業員が近年増加 していることが判明。



対策①

実施率を高めるため、健診機関と相談し、健診当 日に特定保健指導を受けられる体制を整備 (身長・ 体重・腹囲・血圧など当日に数値が判明する項目に よって対象者を決定)。2024年から実施予定。

対策②

代謝(血糖)リスク対策には有酸素運動が有効で あることから、インターネット上で無料配信され ている「有酸素運動に関する動画」を社内のクラ ウドサービスで共有。従業員の運動不足解消をサ ポート。結果的に特定保健指導対象者を減らす取 り組みとなっている。

もっと詳しく 生活習慣病予防健診・健康サポート (特定保健指導) P25、P26 健康事業所宣言 P23、P24

健診の結果、医療機関受診が必要な従業員への受診勧奨

四日市合成株式会社

業種 化学 (各種化学品の製造、加工、販売)

従業員数 約250名

取り組みの内容

医療機関受診が必要な従業員については、親会社の保 健師と協力して受診勧奨。

勤務時間中に保健師と面談を行い、「協会けんぽ作成 の受診勧奨用紙」を配付して受診を促す。



担当者の声

医療機関受診が必要な場合でも、受診を躊躇す る従業員が一定数いるため、社内における受診 勧奨を推進するために「協会けんぽ作成の受診 勧奨用紙」は役立っている。

従業員の反応

従業員一人ひとりの健康に配慮した取り組みの 推進は、自社への信頼性の向上につながって いる。

協会けんぽ Information -

要治療者への受診勧奨 活かそう健康診断!

従業員への受診勧奨、実施していますか?

従業員の健診結果を管理している担当の方の中には、

「検査に行ってほしいけれど口頭では伝えにくい」 「受診したか確認するために何度も声をかけるのは気が引ける」

とお悩みの方もいらっしゃるのではないでしょうか。 どの会社様でも使っていただけるようなリーフレットを 協会けんぽで作成しております。

ぜひご活用ください。

受診勧奨リーフレット



ダウンロードは こちらから



株式会社世古工務店

業種 建設業 従業員数 32名

取り組みの内容

本人への通知と同時に、総務課が従業員一人ひとりの健診結果を把握。 D判定 (要精密検査・要治療)以上 の項目があった従業員に関する情報をまとめて、社長や所属長に報告。

二次健診の受診を勧奨する「通知書」を本人に配付。受診の期限を設け、受診後の報告も要請。また、 地域の産業保健センターに依頼し、産業保健相談員の「ヒアリング」と「健康に関するアドバイス」を受け られる時間を設ける。

┤+αのサポート┝

二次健診を受診する際に使用できる健康管理休暇制度を導入 任意の「二次健診」の受診率を高めるため。この制度の導入によって、 社内における二次健診への意識が高まり、受診率が向上。



取り組みの経緯

毎年、同じ項目で要精密検査・要治療の判定を受けても、「いつも引っかかっているから大丈夫」「体質だから仕方がない」 と感じている従業員が一定数いて、その考えを払拭したいという思いが取り組みを始めるきっかけ。また、数年前に社 員を病気で亡くしたことも、健康経営に対する考え方が変わる転機に。健診結果の一部は、本人にのみ通達されるため、 さまざまな取り組みを行うことで、健康への意識が自然と高まるように努めている。

▶▶▶ 取り組みを進める上で大切にしていること

近年では、従業員一人ひとりの生活充足のために「ライフルネス手当」を支給するなど、社会情勢や会社の状 況などを考慮しながら、毎年「就業規則・賃金規程・福利厚生」を変更。この取り組みに対しては従業員から の期待の声もあり、日頃から従業員の声が幹部に届きやすい環境づくりを大切にしている。

もっと詳しく 三重産業保健総合支援センター・地域産業保健センター P.31、P.32

有限会社エムアイトランスポートサービス

業種 運輸·倉庫業 従業員数 33名

取り組みの内容

本人への通知と同時に、総務課担当者(又は衛生推進者)が従業員 一人ひとりの健診結果を把握。要精密検査・要治療の項目がある従 業員の「健康診断指導記録」を作成。その書類を社長が直接従業員 に手渡しして、受診後提出するように指導。



健康診断指導記録

一カ月以内に、受診結果を記載した「健康診断指導記録」が未提出の 従業員には、「イエローカード」(診療明細書のコピーの添付、「受診後 の結果報告」の記載が必須)を配付。また、イエローカードを配付し た従業員の管理表を作成し、提出の有無を把握。未提出の従業員には、 時期を見て声かけを行う。

取り組みの経緯

「健康診断指導記録」の作成だけでは、二次健診の受診率の劇的な向上にはつながらなかった。他企業の対策を参 考にして、「イエローカード」の取り組みをスタート。「プライベートなことに口出ししないでほしい」という声もあっ たが、「従業員には健康で働いてほしい」という会社の方針で継続。

取り組みの成果

名前にインパクトがあることや提出期限が設けられていることによって、「イエローカードは提出しなければいけない 書類」として社内に浸透。受診に消極的だった従業員の意識に変化が見られた。それによって、二次健診の受診率 は格段に向上。

┤+α゙ゕサポート┝

睡眠時無呼吸症候群の検査は会社が全額負担

運輸業界で重要視されている「睡眠時無呼吸症候群対策」の一環として、取り組みをスタート。 1泊2日の入院での検査となり、費用が高額となるため、全額を会社で負担している。